

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大牧小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語や算数などを中心に読解力が不十分であることから教材や問題の読み取りへの苦手意識がある。 <指導上の課題> 探究的に学習を進めていくサイクルづくりが不十分である。授業の課題に上限があり、児童がさらによくしよう、高めようとする環境が整っていない。	⇒ 学校課題研修で推進している「学びのシンキング・サイクル」による授業づくりを行う。【通年】 「情報の収集」場面を重視し、目的意識をもった教材や資料等の読み取りを行い、読解力を養う。【週に1度】 「ふりかえり」の充実によってメタ認知を高め、次の課題につなげることで探究のサイクルを構築する。【通年】 単元全体を見越した教材準備を行うために学校課題研修で作成した「単元構想シート」を活用した単元づくり、授業公開をする。【学期に1度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 授業への参加意欲はあるが、自分の考えを広げたり深めたりしようとする探究心は不十分である。 <指導上の課題> 自己調整学習と併せて、各教科の見方・考え方を押さえた授業づくりが十分にできていない。	⇒ 学習のふりかえりを充実させ、自分の学びを振り返ったり、さらに調べようとする気持ちを高めさせ、探究心を養っていく。【通年】 「整理・分析」「まとめ・表現」の際には、教科の見方・考え方が働くような発問や支援を行い、教科の特性に合わせ思考し、表現ができるようにする。【通年】 デジタル学習基盤を活用するとともに教科の見方・考え方が働く授業づくりを行う。【通年】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)